

令和2年度 事務事業総点検シート(1)  
[ 令和元年度事務事業 ]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	自転車まちづくり企画運営事業			シート番号	019-089
担当部署名	建設	局	自転車まちづくり	部	自転車企画推進課
				課	評価責任者(課長名)
					松谷

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	5	持続可能な環境共生都市を実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	4	人と環境に優しい交通体系の構築など低炭素型都市構造への変革	無
	2	事業開始年度	平成 14 年度		終了(予定)年度	年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	堺市自転車のまちづくり推進条例			
	4	関連計画	堺市自転車利用環境計画、堺市自転車利用環境計画<追補版>-重点アクションプラン-			
5	事業実施の経緯	平成13年に株式会社シマノから2億円の寄付を受け、「堺市自転車環境共生まちづくり基金条例」を創設した。市民・自転車関連団体・学識経験者及び行政で構成される「堺自転車環境共生まちづくり企画運営委員会」において、当該基金を活用し、自転車のまちづくり事業等を企画・実施している。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input checked="" type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input checked="" type="checkbox"/> その他 (堺自転車環境共生まちづくり企画運営委員会)	
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	自転車利用者等	
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	平成26年10月施行の「堺市自転車のまちづくり推進条例」及び「堺市自転車利用環境計画」の目的である「自転車を利用しやすいまち」の実現に向けて、市民・事業者・行政が協働して、安全で、安心して自転車を利用しやすいまちづくりに取り組んでいる。	
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	○「堺 自転車のまちづくり・市民の会」と協働で自転車のルール周知・マナー啓発及び自転車利用促進にかかる活動を行った。 ・「さかい自転車デー」の実施 民間商業施設や区民まつり等で自転車ルールマナークイズを実施し、啓発を実施。 ・「堺自転車の楽校」の実施 自転車の魅力を色々な視点から伝える講座を開催 ・「堺市自転車地図」や「SAKAI散走」の周知啓発 自転車の利用促進の一環で、推奨サイクリングコースや散走コースを掲載した堺市全域をカバーした地図を発行しPR。 ○さかい自転車リーダー養成講座 自転車利用推進委員(自転車リーダー)の認定を行う、事業者向けの講習会を開催 ○堺自転車環境共生まちづくり企画運営委員会の開催 条例や計画、また市の自転車施策の進捗管理の実施及び自転車まちづくりを進めるための企画・立案等意見の聴取 ○自転車ヘルメット購入補助事業(平成30年度終了) 平成27年度から4年間の事業とし、堺自転車安全利用講習会受講者(65歳以上の高齢者及び小学生とその保護者が対象)に対して補助券配付 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
10	直接実施以外の主な支出先	委託業者		

Ⅲ. 投入量

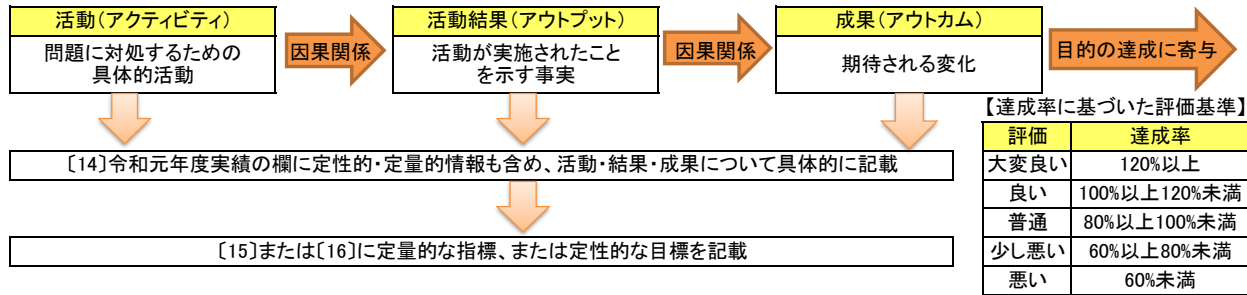
項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
事業費 (a)	千円	10,604	7,789	13,317	9,524	5,370	4,989	5,210
主な事業費内訳								
企画運営委員会負担金	千円	4,400	4,400	5,100	5,100	4,700	4,700	4,700
基金積立金	千円	300	200	300	200	200	31	200
報償費、需用費(印刷製本費)	千円	1,312	87	5,298	3,782	470	258	310
ヘルメット補助事業	千円	4,592	3,102	2,619	442	0	0	0
財源内訳								
国・府支出金	千円							
受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
市債	千円							
その他(自転車環境共生まちづくり基金繰入金等)	千円	4,642	4,598	5,314	5,219	4,840	4,700	4,700
一般財源	千円	5,962	3,191	8,003	4,305	530	289	510
12 人件費 (b)	千円	13,630	13,630	13,630	13,630	10,230	13,470	13,870
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	24,234	21,419	26,947	23,154	15,600	18,459	19,080

## 令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	自転車まちづくり企画運営事業	シート番号	019-089
-------	----------------	-------	---------

### Ⅳ. 評価(測定・分析)》

#### ロジックモデルの考え方



[14] 令和元年度実績の欄に定性的・定量的情報も含め、活動・結果・成果について具体的に記載

[15] または [16] に定量的な指標、または定性的な目標を記載

#### 事業の活動実績や成果

令和元年度実績										
活動実績と成果	14	<p>○「堺自転車のまちづくり・市民の会」と協働実施                      ・「さかい自転車デー」(自転車の安全利用の啓発を大型商業施設や市民が集う区民まつり等で自転車のルール・マナーのクイズを通じて安全利用を啓発)の実施                      【成果】計10回開催、参加者計2,625人の方に参加いただき、安全利用の推進に寄与。                      ・「堺 自転車の楽校」(自転車の魅力を色々な角度から伝える講座を実施)の開催                      【成果】計10回開催、参加者数計139人の方に参加いただき、自転車の魅力を伝え、利用促進に努めた。                      ○「さかい自転車リーダー養成講座」(事業者向けの安全利用・利用促進を行う自転車利用推進委員会を設置するための講座)の実施                      【成果】設置事業所43か所(令和2年7月末現在)                      活動報告書を集計した結果、合計での自転車の安全講習会等啓発回数は21回であり、事業者内で自転車安全利用の意識向上を図った。                      ○堺自転車環境共生まちづくり企画運営委員会(条例や計画、また市の自転車施策の進捗管理の実施及び自転車まちづくりを進めるための企画・立案等意見の聴取)の開催 【成果】計2回開催 有識者等から市の自転車施策に関して意見をいただき、施策展開に活かした。</p>								
	15	指標名【活動指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度			
		「さかい自転車デー」 (自転車安全利用啓発)参加者数	人	目標値	5,000	4,500	4,500	600		
	実績値			3,336	3,523	2,625				
	達成率			67%	78%	58%				
	評価			少し悪い	少し悪い	悪い				
		算出方法・設定根拠など 1回当たり450人×10回(令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、100人×6回に再設定)								
	16	定性的な目標								
		自転車の利用促進								
		目標に対する実績	市民協働で「堺自転車の楽校」や「SAKAI散走」の実施。「自転車地図」の作成及びPR							

#### 事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	「さかい自転車デー」参加者数	人	3,336	3,523	2,625
	②	上記①にかかる年間経費	千円	5,798	5,850	6,873
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	1,738	1,661	2,618
	備考(算出についての説明等)		年間経費:負担金の内①に係る費用及び人件費を算出			
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①					
	②	上記①にかかる年間経費	千円			
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位			
	備考(算出についての説明等)					

#### 業績の分析

19	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
	<p>【自転車デーの開催】                      自転車デーでは、啓発者数の目標値を下回った。要因としては、参加者一人一人に時間をかけて自転車のルールマナーを啓発した結果であり、参加者への安全利用の意識は向上へとつながった。また、イベントブースへの参加者が減少したことも要因の一つである。</p> <p>【自転車の利用促進】                      堺自転車の楽校では、毎月テーマを変えたり、外部講師の登壇等取入れ、自転車の魅力等を様々な角度から伝え、自転車利用の促進に努めた。</p>

**【分析のチェックポイント】**

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	自転車まちづくり企画運営事業	シート番号	019-089
-------	----------------	-------	---------

≪V. 点検≫

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒  確認

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 「堺市自転車のまちづくり推進条例」では、市、事業者、市民の責務を明らかにし、自転車を有効に活用できるまちづくりに協働して取り組むための基本的な事項を定めている。条例で市民、事業者に対して、責任を課しているにも関わらず、市が何も施策を行わないことになると理解を得られず、また自転車の安全利用の衰退になる。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 上記と同じ理由 休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 今年度においては、市民の会の活動も縮小傾向であり、会議開催回数の見直し等により運営方法を工夫し、コスト削減を図る。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 自転車は「3密」回避の手段の1つであり、今後利用は増える見込みがあり、ルール・マナーの啓発はさらに重要となる。今後は、SNS等を活用した非接触型の啓発活動も検討を行う。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 ( ) 関連事業名 ( ) ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ( )	理由・説明 元々、ボランティア団体である「堺 自転車のまちづくり・市民の会」と協働でまちづくりを行っている。今後は、さらに活動支援の方法を模索し、会の自立に向けた議論を行うなど運営方法の改善等を行う。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	所見 自転車は「3密」回避の手段の1つであり、今後利用は増える見込みがあり、ルール・マナーの啓発はさらに重要となる。自転車の安全利用、利用促進は、一朝一夕とはいかず、コロナ禍であっても継続的に啓発活動等を行う必要があるため、SNS等を活用した非接触型の啓発活動も検討を行う。 本市の財政状況を踏まえた上で、事業手法の見直しによる事業費の縮減を図りつつ、事業を継続して実施する。